町民のみなさんと議会をつなぐ

ぴっぷ議会だより

No.129
令和８年11月



【表紙】「世界一大雪山がきれいに見えるまちより」
谷口 雅浩 議員　撮影

P4　一般質問　ズバリ！ここが聞きたい
植西 浩一 議員／佐藤 良彦 議員
遠藤 ハル子 議員
P7　令和７年度決算審議
P14　複合庁舎の優先交渉権者が決まりました
P16　連載「議会のシゴト」

第３回定例会
第４回臨時会
第５回臨時会

議案審議

除雪サービス事業の内容を改正しました

令和８年第３回議会定例会及び第４回議会臨時会並びに第５回議会臨時会がそれぞれ開かれ、提出された議案を慎重に審議しました。今号では、主な審議内容を３つピックアップし、ご紹介します。

〈第３回議会定例会〉

pickup 1

議案第４号 比布町保健福祉サービス手数料条例の一部を改正する条例について

除雪サービスの利用者負担額を変更



身体的な理由等により除雪が困難な方に対し、玄関までの通路の確保や屋根の雪下ろしなど、日常生活を送るうえで最低限必要な除雪サービスを行っていますが、除雪作業員の不足などから、内容を一部変更することにより、安定したサービスを提供できるよう、利用料などの見直しを行うものです。
なお、改正内容は次のとおりです。

これまでの利用料

単位：年間
全体利用料の10％の額



これからの利用料

単位：１回あたり
①出入口200円（30分以内100円）
②車庫前（冬期間も使用する自家用自動車が格納されているもの）100円
③家屋根・物置屋根・軒下（日常生活に必要な範囲のみ）2,500円（年度中２回まで）

〈第４回議会臨時会〉

pickup 2

議案第１号 比布町複合庁舎建設事業設計施工一括契約の締結について

複合庁舎の設計施工一括契約を締結

〈契約金額〉3,969,430,000円
〈契約の相手方〉竹中・荒井共同企業体
代表者…株式会社竹中工務店北海道支店
構成員…荒井建設株式会社

比布町複合庁舎建設事業は、設計施工一括方式（デザインビルド方式）を採用し、公募型プロポーザルにより公募を行いました。公募期限までに１件の申請があり、選定委員会を実施し審査を行った結果、申請のあった事業者を優※先交渉権者として選定し、次のとおり契約を締結するものです。



〈第３回議会定例会〉

pickup 3

議案第９号　令和８年度比布町一般会計補正予算（第４号）について

企業版ふるさと納税で「世界最高峰のピアノ」を購入

本町に支社を置く株式会社七宝様から、企業版ふるさと納税としてご寄付をいただき、「世界最高峰のピアノといわれる『スタインウェイ社製』のピアノを日常的に子どもたちをはじめ多くの人たちに触れてほしい」との願いから、ピアノ本体と管理用備品の購入や運搬にかかる諸経費を増額補正するものです。

議員の質疑・町の回答

Q ピアノの搬入先と、温湿度管理などの対策はどう考えていますか。

A 複合庁舎の完成までは比布中央学校の音楽室に置き、音楽室のエアコンや専用機器で湿度等の管理を行います。

Q 複合庁舎に移転後、子どもたちが利用する際に制限を設ける予定はありますか。

A 「できるだけ多くの人に触れてほしい」という寄附者の思いから、複合庁舎移転後も極端に厳しい制限は設けず、子どもたちや町民の皆様が自由に音楽を楽しめる環境づくりを目指します。

■第４回議会臨時会（令和８年８月13日開催）議決結果■

件　　名	結　果
議案第１号　比布町複合庁舎建設事業設計施工一括契約の締結について	原案可決

■第３回議会定例会（令和８年９月８日～11日開催）議決結果■

件　　名	結　果
報告第　１号　地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告について	報　告
認定第　１号　令和７年度比布町一般会計歳入歳出決算の認定について	認　定
認定第　２号　令和７年度比布町国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認　定
認定第　３号　令和７年度比布町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
認定第　４号　令和７年度比布町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
認定第　５号　令和７年度比布町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
認定第　６号　令和７年度比布町簡易水道事業会計決算の認定について	認　定
認定第　７号　令和７年度比布町公共下水道事業会計決算の認定について	認　定
議案第　１号　教育委員会委員の任命について	同　意
議案第　２号　固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　意
議案第　３号　比布町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第　４号　比布町保健福祉サービス手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第　５号　令和８年度比布町一般会計補正予算（第３号）について	原案可決
議案第　６号　令和８年度比布町介護保険特別会計補正予算（第２号）について	原案可決
議案第　７号　令和８年度比布町観光事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第　８号　令和８年度比布町簡易水道事業会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第　９号　令和８年度比布町一般会計補正予算（第４号）について	原案可決
意見書案第２号　国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書の提出について	原案可決
意見書案第３号　軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書の提出について	原案可決

■第５回議会臨時会（令和８年10月１日開催）議決結果■

件　　名	結　果
議案第１号　財産の取得について	原案可決

行政予算の適性化に向けて



植西（うえにし） 浩一（こういち） 議員

村中町長

既存事業の見直しを行いながら効果や緊急性などを十分に検討する

□質問・植西議員

費用対効果を考えて、町に税収をもたらすような事業に集中して予算配分をすることが比布町の未来を創り、持続性をもたらすものと考えますが、支出の適正化が図られるよう効果測定は行われていますか。また、本町においては教育が人を集め、農業に伸びしろがあるものと思いますが、予算の重点項目として配分を行う考えはありますか。

■答弁・村中町長

予算編成の段階において、各課に事業シートの提出を求め、事業の目的や効果、これまでの実績に加え事業費の積算根拠を確認した上で、予算査定を実施しています。

また、まちづくり計画に位置付けた施策については、毎年度その進捗状況を確認し、総合振興審議会において委員の皆様のご意見をお伺いし、次年度の予算編成につなげています。

教育について、子どもたちが安心して学び、可能性を伸ばせる環境を整えることは、町の将来を担う人材を育てる未来への投資であると考えています。

農業については、本町の基幹産業であり、町の活力を維持する上で欠かすことのできない産業です。課題はありますが、本町ならではのブランド力を高め、加工や観光と結び付けていくことには、まだ伸びしろがあるものと考えており、農業を「守る」だけではなく「伸ばしていく」視点が必要であると認識しています。

□植西議員　近隣市町のふるさと納税の増額をどのように感じていますか。

■村中町長　少しでも多くふるさと納税を増やしたいという思いから、機構改革を行い専門部署を設置したことで、寄附額が1億円を超えました。今後もさらなる増収に努めます。

□植西議員　以前、フリーズドライの設備などを導入し、例えば廃棄野菜を活用したふるさと納税の返礼品を商品開発することはできないか質問をしました。こうした取り組みを進めるために必要となるイニシャルコストに対して助成を行う考えはありますか。

■村中町長　ふるさと納税に限らず、事業者への支援制度として最大３００万円までの支援を行っていますので、ふるさと納税の返礼品開発にもご活用いただければと思います。

□植西議員　交流促進施設への支出について、コロナ前と比較すると約1・4倍になっています。この助成はどのような効果を期待しての支出ですか。

■村中町長　町民の福祉向上や健康増進、町内の経済循環に寄与し、町民の利用だけではなく、町内の事業者にも影響を及ぼす施設だと思います。

□植西議員　連携中枢都市圏構想を踏まえ、何でも町内に持つことが正しいか検討すべき時期にきていますが、どのようにお考えですか。

■村中町長　現在の運営体制を永遠に続けられるとは考えておらず、今後のあり方について引き続き議論していきます。

「教育活動」

「稲作農家と収穫」





佐藤（さとう） 良彦（よしひこ） 議員

一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

町内会のスリム化に向けた行政の支援を

村中町長

地域の実情に応じた町内会のあり方を一緒に検討し必要な支援を行う

□質問・佐藤議員

現在、比布町内の多くの町内会が直面している問題は、役員の高齢化・なり手不足です。これは人口減少と高齢化が急速に進む地方自治体の「縮図」とも言える構造的な課題と考えます。

町が定める第13次比布町まちづくり計画において、町内会役員構成のスリム化や町内会と行政の「協働」が最重要課題の一つとして位置づけられています。

その町内会が課題に直面している中、防災・防犯、環境衛生、地域行事、行政のパイプ役など多岐に渡る活動内容は、地域活動の大きな負担となっています。

「任意の団体」と理解の下で、「行政としてどう支援・改革していくのか」をテーマに質問します。

❶行政として町内会の現状と課題をどのように理解し、対応策として具体的に考えていることはありますか。

❷町内会の負担軽減に向け、行事や業務の見直しに活用できるガイドラインの作成や情報提供、また、行政から依頼している業務の見直しなど、具体的な支援策を検討していますか。

❸今後、統合や合併を模索する町内会が出てくることが予想されますが、任意の団体同士の話し合いに任せるのではなく、行政として合意形成の場に入って支援を行う考えはありますか。

■答弁・村中町長

町内会は、防災や防犯、環境美化をはじめ、地域行事の開催や住民同士の交流、行政との連絡調整など、地域コミュニティを維持していく上で、大変重要な役割を担っています。

一方で、社会環境の変化や価値観の多様化など、町内会を取り巻く環境が変化しています。

これまでと同じ組織体制や活動を将来にわたって維持することが難しくなっていると考えており、町内会の負担を軽減し、持続可能な地域コミュニティのあり方を検討することは重要な課題です。

これまでの活動や組織の維持のみを目的とするのではなく、「地域で何を支え合うべきか」という視点を持ちながら、社会福祉協議会などと連携し、持続可能な地域コミュニティの形成をめざす必要があると考えます。

❶町内会役員の高齢化や担い手不足による役員への負担の集中、町内会活動に対する参加意識の低下など、様々な課題を抱えているものと認識しており、すべての町内会に共通する課題のほか、地域独自の課題もあると思います。

行政区長会議やまちづくり懇談会などを通じて、課題解消につながる対応を検討します。

❷町内会活動の負担軽減を進めるには、各町内会による活動の見直しだけではなく、行政側がこれまでお願いしてきた業務について、簡素化をはじめとした見直しを引き続き行います。

ガイドラインについては、各町内会が自らの活動を見直す際の参考として有効であると考えますが、行政が一律に求めるものとならないよう自主性を尊重した中で、どのような支援が有効であるか検討します。

❸現在の町内会単位での活動を維持することが難しく、隣接する町内会との統合や合併、活動の共同化などを検討する地域が出てくることは考えられます。統合や合併は、それぞれの町内会や地域住民の皆様の意思を尊重して進められるべきもので、協議を進める際には、組織のあり方や財産、会費、役員体制、地域行事など、様々な検討や調整が必要なことから、町としては、統合や合併に限らず地域からの求めがある場合には、地域にお伺いし、情報提供や調整など、地域の実情に応じた町内会のあり方を一緒に検討し、必要な支援を行います。

一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

空き家リスク回避対策の進捗状況は

村中町長

所有者への適切な働きかけと民間連携による空き家対策を推進する



遠藤（えんどう） ハル子（はるこ） 議員

□質問・遠藤議員

「比布町空き家等対策計画」は令和8年度に更新時期を迎えます。比布町での施策の進行状況について、何が進み、何が進まないのか、現状とこれからの対策を質問します。

❶空き家になる前の転居・転出時の「住宅の利活用方針の意思確認」での情報をどれだけ取っているのか伺います。

❷景観面からの問題である草木の繁茂や屋根からの飛散物を確認されている空き家もあります。町民からの情報共有も必要ですが、相談体制や行政としての支援を切れ目なく継続する必要性があります。今後の空き家リスク回避のための対策を伺います。

❸現状把握のため、10年前に実施した「空き家調査」の再調査が必要です。また、所有者への聞き取りアンケートにより、利活用できるか、処分するか等の情報を整理し、移住・定住者への情報提供ができるよう、旭川宅建協会や民間事業者とのさらなる連携が必要と考えますが、町長の考えを伺います。

住んでいる人も居心地がいい町になるように力を入れていただきたいとの願いから町長に伺います。

■答弁・村中町長

❶所有者の転居や転出時に包括支援センターから、物件の処分の大切さについてお話をさせていただく場合もあり、空き家となった状況を確認したうえで対応します。

❷個人の敷地内であり、町が直接対策を施すことができないため、所有者の方へ管理を促す文書を送付しています。

相談体制と行政の支援については、建設課にて「いつでも相談を受け付けている」ほか、毎年、旭川司法書士会と旭川宅建協会から専門家を派遣いただき、町主催の空き家相談会を開催しています。また、令和6年度より年1回、当麻町との共催で空き家相談会を行っており、さらに今年度は北海道が主催し、札幌市で行われる空き家相談会に共催として参加しています。今後もできる限り参加を続けていきたいと思っています。

❸空き家調査は、次年度に更新する予定の「比布町空き家等対策計画」に反映するため、今年度中に実施する予定です。

また、空き家物件の情報は、旭川宅建協会のホームページで公開されるよう連携しており、これからも個人情報に配慮しながら民間事業者や団体との連携を深めてまいります。

□遠藤議員 比布町での無料相談会は、令和6年度が10件、7年度は6件、8年度はすでに4件、そして当麻町との合同開催は、令和6年度は1件、7年度は4件でした。8年度は調査の件数には入っていませんが、合計26件です。この無料相談会はとても役割が大きいと思います。

また、相談会には5事業者が来ており、相談内容は、北海道行政書士会が相続。日本不動産協会、旭川宅建協会が売却。0円都市開発が無償譲渡に関して。株式会社グローカルは空き家の利活用です。無料相談会は年に1回なので、常設窓口の周知拡大を図ってはいかがでしょうか。

■村中町長 建設課でいつでも相談を受け付けていますが、今後は「いつでも相談に来てください」というPRをさせていただきます。

町内に空き家等を持つ所有者が町外に居住しているケースが多く、町外での相談会が効果的であると実感しているため、今後も機会があれば積極的に参加していきたいと考えます。

また、全国組織等があれば、全国的な相談会の開催が課題解決につながると考えますので、提案を行っていきたいと思います。

令和７年度決算特別委員会

お金の使われ方をチェック

令和７年度 決算認定

９月定例会では、議長及び議選監査委員の八巻良博議員を除く議員７人で構成する決算特別委員会（委員長　今井明信副議長）を設置し、９月９日から10日の２日間にわたり令和７年度決算を審議しました。

会計別決算額一覧

会計名			歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計			4,655,942,927円	4,344,357,380円 翌年度繰越額 12,508,000円	311,585,547円
特別会計	国民健康保険特別会計		435,244,773円	404,685,754円	30,559,019円
特別会計	後期高齢者医療特別会計		82,726,312円	82,705,937円	20,375円
特別会計	介護保険特別会計		651,659,906円	631,438,235円	20,221,671円
特別会計	観光事業特別会計		250,473,141円	225,203,165円	25,269,976円
企業会計	簡易水道事業会計	収益的収支	169,241,738円	188,502,399円	△19,260,661円
企業会計	簡易水道事業会計	資本的収支	96,777,650円	134,279,287円	△37,501,637円
企業会計	公共下水道事業会計	収益的収支	79,720,487円	87,183,543円	△7,463,056円
企業会計	公共下水道事業会計	資本的収支	8,809,070円	18,820,671円	△10,011,601円

※企業会計の資本的収支における不足額は企業債及び過年度分損益勘定留保資金等により補填

こんな質疑がありました！

谷口委員

ふるさと納税の動向は

Q まちづくり応援寄附金が減少し、企業版ふるさと納税が増加した要因は。

A まちづくり応援寄附金は、令和６年度の全国的な米不足による加熱が落ち着いたことが主な要因と考える。一方で、企業版ふるさと納税はVillage by VOREAS（ヴィレッジ バイ ヴォレアス）関係の寄附が大きく伸びたことが要因であり、今後も寄附額の拡大に向けて取り組んでいく。

遠藤委員

公営住宅使用料の減免申請が増加した要因は

Q 公営住宅使用料の減免申請者が増加した理由は。またプッシュ型通知の導入など、さらなる取り組みが必要と考える。

A 申請方法をわかりやすく記載したチラシを作成・周知したことが、申請件数の増加につながった主な要因と考える。システム連携によるプッシュ型通知は未実施だが、問い合わせ対応を丁寧に行い、定着を図っている。

大熊委員

現庁舎の大規模修繕の予定は

Q 複合庁舎完成まで残り約２年となる中、現庁舎の老朽化に対する大規模修繕の予定は。

A 大規模な修繕は予定していないが、塗装の剥離など危険がある箇所や緊急性の高いものに限り、事故防止のため最低限の修繕を実施する。



大熊委員

情報化に対応するための専門人材の確保は

Q 高度化する行政の情報化に対応するため、専門的な人材を雇用する予定はあるか。

A 現在はＣＩＯ補佐官からの助言を受けつつ、地域活性化企業人制度を活用した情報関係職員の確保を予定している。対象となる事業者との交渉や手続きを進め、専門人材の確保に努めていく。

遠藤委員

交通安全協会費の廃止と新たな取り組みは

Q 交通安全指導員の確保状況と、交通安全協会費（500 円）に関連したゴミ袋の配布などは今年度も継続されるのか。

A 指導員 17 名を確保した。負担が大きい会費とゴミ袋の配布は廃止したが、各種イベント等に協力金箱を設置し、物価高に対応しながら交通安全事業の原資をしっかりと確保していく。

植西委員

子どもたちの安全を守る防犯対策は

Q 子どもたちの安全確保・防犯対策として「いかのおすし」と「防犯マップ」を組み合わせることが効果的であるが、これらをどのように推進しているか。

A 防犯協会を通じた啓発のほか、見守りや「子ども 110 番の家・事業所」に駆け込める体制を整えている。防犯マップの作成予定はないが、危険箇所を記したマップにより通学路の安全確保に取り組んでいる。



子どもたちの安全安心を守る義務は住民にもあり、それを支えるための仕組みは、防犯協会が中心となってよく考えていただきたい。



佐藤〈良〉委員

外国人材の確保と支援は継続されるか

地域おこし協力隊
特別養護老人ホームあそか苑従事



シンタ・ヌルディアナ さん



ラム・カイ・ハン さん

Q ８年度以降も外国人介護福祉人材育成支援事業を継続する予定か。また、何人程度の受け入れを計画しているか。

A 現在は地域おこし協力隊制度を活用し支援しているが、８年度以降は法人からの正式な要望がなく予算計上していない。法人の採用方針を踏まえつつ、情報提供を行いながら人材確保に努める。

佐藤〈良〉委員

スクールバスの運行管理と点検体制は

Q スクールバスの適切なメンテナンスや運転手のアルコールチェックの現状は。

A 車両は定期点検を行っている。また、運転手のアルコールチェックは委託業者で実施し、毎月報告を受けている。万が一、基準値を超えた際は、直ちに別の運転手へ交代する体制となっている。



谷口委員

ぴっぷクリニックの持続可能な運営へ向けて

Q ぴっぷクリニックの利用者減少をどう捉え、今後の運営や送迎はどう改善するのか。

A 健診の受け入れなどで収支改善に努めている。また、指定管理料による支援や送迎体制について指定管理者と協議し、運営維持に努める。



地域医療を維持するためには、医師・人材の確保、在宅医療・地域包括ケアの充実、医療機関の分業化など、多角的な取り組みが必要ですね。



遠藤委員

ボランティアの活躍と隙間事業を展開する考えは

Q ボランティアの育成や顕彰、介護保険外の「隙間事業」への対応は。

A 長年活動してきたボランティアへ感謝を伝えるとともに、新しい担い手育成に努める。また、法制度でカバーできない生活上の困りごとに対し、社協と連携した事業の検討や、独居宅の訪問を進める。

社会福祉協議会は福祉を支える大事な事業者です。サポーターの研修・サポーター同士の交流など、長く続けていける施策を望みます。



植西委員

緊急通報システムの利用状況と利用料は

Q 緊急通報システムの利用状況は。また生活保護受給者の利用と料金負担はどうなっているのか。

A 警備会社への切り替えや移行案内により、現在は 20 件が利用されている。利用料金は一律で月額 500 円をご負担いただいている。

植西委員

近隣自治体との連携による買い物環境の充実を

Q 隣町の地域通貨を共有し、町民の買い物環境の確保や商業支援に活用できないか。

A 過去に関係課や団体と協議したが、ランニングコストが発生することや、各事業者の負担、町内事業者において導入への意欲があまり見られなかったことなどの課題があり、導入は見送る経緯となった。

谷口委員

外国人観光客の受入状況と今後の戦略は

Q スキー場におけるインバウンド客の増加状況と今後の誘客方針は。また、これまでにトラブルはあったか。

A 来場者数は、令和６年度から約1.6倍の5,889人に増加した。文化の違いによる大きなトラブルはなかったが、コース外滑走の一部課題に対応しつつ、国内客の減少も踏まえ、スキー業界全体の活性化を見据えて誘客に取り組む。

澁谷委員

観光事業特別会計の公課費の内容は

Q 観光事業特別会計における1,000万円程度の公課費の支出内容は。

A 大部分が消費税によるもので、主に令和６年度の確定申告等に伴う税額の増加によるものとなっている。

決算特別委員長から



新年度の事業や予算について町に質疑をする「予算特別委員会」とは違い、すでに終了した事業や支出に対する「決算特別委員会」の質疑はそう多くはありませんが、今後の予算執行や事業の反省を踏まえ検討するためには必要な委員会です。



決算特別委員長
今井　明信　副議長

大熊委員

君の夢プロジェクトの継続的な実施を

Q 部活動の地域展開が進む中、「君の夢プロジェクト」による専門的な指導の機会は今後も継続されるのか。

A 令和10年度までは事業を継続し、専門的な指導の機会を提供するが、全部活動が地域展開された後については、現時点で未定となっており、今後の検討課題となっている。

部員数の減少や部活動の地域展開が進んでも、「君の夢プロジェクト」は今後も続けていってほしい！！



佐藤〈良〉委員

複合庁舎で高まる防災拠点機能と防災マップの周知徹底

Q 防災マップが住民に伝わっていない。複合庁舎が防災拠点となる今、行政として防災マップを作成し、適切なスキーム（仕組み）を構築することが不可欠ではないか。

A ご指摘の通り周知不足を認識している。複合庁舎に消防署と保健センターが入ることで避難所運営、災害対策の拠点として機能することを期待している。職員の防災意識も高め、災害時に臨機応変に対応できる体制の構築に努める。

人と人の繋がりが何よりも大切！！自助・共助を軸に、皆で防災意識を高め、皆で支え合う「互助」ができる町に！！



常任委員会 調査レポート

総務常任委員会（8月24・25日開催）、産業建設常任委員会（9月1日開催）がそれぞれ開かれ、所管分野に関する課題等について調査を行いました。
今号では、主な内容をピックアップし、ご紹介します。

A…委員からの質疑
Q…担当からの回答

教育課

複合庁舎建設に伴う施設利用の変更と改修

複合庁舎建設に伴い、福祉会館の貸館終了や一時的な移設、改修工事を行います。

①福祉会館の貸館終了
令和8年10月30日をもって福祉会館の貸館を終了。
【対象団体への対応】定例利用をされていた15団体の皆様には代替会場（農村環境改善センター・図書館視聴覚室）をご案内し、了承をいただいている。
【使用料について】代替会場を利用している期間は、これまでと同額でご利用いただける。

②図書館改修と事務所の一時移設
福祉会館の解体に伴い、教育委員会事務所と社会福祉協議会事務所を一時的に図書館内へ移設するため、改修工事を実施する。
【改修内容】事務所スペースの確保に加え、将来的に会議室等としても活用できるよう改修を行う。
【工事期間】9月中頃～10月末（予定）
【利用者へのお願い】工事期間中は、安全確保のため一部ご利用いただけない日が生じる場合があります。事前にしっかりとお知らせしますので、ご協力をお願いします。

教育課

田中学園による英語授業を視察

8月25日（火）に比布中央学校を訪れ、5年生と9年生の英語授業の視察を行いました。
学校法人田中学園から派遣されている3名の講師による素晴らしい英語授業の様子を委員が直接視察し、子どもたちが生き生きと学ぶ実践的な授業風景を確認しました。
今回の視察で得られた知見を、今後の教育環境の充実や議会活動における政策提言にしっかりと活かしていきます。



子どもたちがリラックスした表情で、積極的に英語でコミュニケーションを楽しんでいる姿が印象的でした。先生方のきめ細やかな指導に感銘を受けました。



総務常任委員会
谷口 雅浩 副委員長

子どもたちが生き生きと学ぶ実践的な風景を目の当たりにし、大変有意義な時間となりました。本町の英語教育の確かな成果と今後の大きな可能性を感じました。



総務常任委員会
大熊 勝幸 委員

総務企画課

子育て環境体験ツアーを初開催

移住・定住を検討している未就学児のいるご家庭を対象に、町の子育て支援施設や学校教育環境を実際に体験していただく「ぴっぷ町子育て環境体験ツアー」を開催します。

【比布町の子育て環境の特色】

ツアーでは、本町ならではの充実した支援や教育環境をＰＲします。

①比布中央学校…義務教育学校（1～9年生）として、切れ目のない一貫した教育を展開。

②充実の英語教育…学校法人田中学園と連携し、1年生からの英語教育を強化。

③こだわりの学校給食…ミネラルを重視し、ダシからすべて手作りで提供。

④手厚いサポート…妊娠中から出産後まで、子育て支援センターの相談員が親身に寄り添う体制。

Q とても良い取り組みだと思います。町外・町内から応募があるとのことですが、広報紙やインターネットでの周知だけで、これだけの応募が集まったのですか。

A 職員が旭川市内のスーパー等に直接足を運び、チラシの掲示・設置をお願いしました。チラシに掲載したＱＲコードから直接申し込めるようにしたことで、実際に手に取って「行ってみたい」と感じた方々からの参加につながっています。

商工観光課

グリーンパークぴっぷの次年度以降の運営方針

「グリーンパークぴっぷ」について、利用者の減少や財政負担の増大などを背景に、次年度以降の運営に関する方針案が示されました。

①町の基本方針（案）

・パークゴルフ場…令和8年度のシーズンをもって閉鎖する。

・キャンプ場…令和9年度以降も営業を継続する。

・テニスコート…今後の活用方法について引き続き協議する。

②閉鎖後の管理

パークゴルフ場のＡ・Ｂコースは、クマ対策として草刈り管理を継続する。

③方針決定の背景

・パークゴルフ場の閉鎖…ピーク時に約4・7万人だった利用者は、近年1万人未満に減少。年間約2、000万円の慢性的な赤字が続いており、施設の老朽化や芝の再生力低下も重なり、継続が困難と判断した。

・キャンプ場の継続…コロナ禍のアウトドアブームやフリーサイト拡張により利用者が増加。値上げ後も高い水準を維持しており、「遊湯ぴっぷ」への入浴客の波及効果も期待できるため継続する。

Q 利用者が減少する中、判断が遅すぎたと感じます。「町民の運動の場」という意識が判断を鈍らせた原因ではないでしょうか。

A 利用者がいるうちは続けたいとの思いがあったことは事実ですが、年間2、000万円近い赤字という財政負担を考えた時に限界であり、この教訓を今後の施設運営に活かしたいと思います。

Q 閉鎖後もＡ・Ｂコースの草刈りを継続するとのことですが、これまでのような高額な維持管理費がかかるのでしょうか。

A キャンプ場に隣接する場所のクマ対策（草丈30㎝以下を維持する草刈り）を行います。経費は削減される見込みであり、今後精査します。



議員研修報告

【7月21日開催】

青果振興会研修会



近隣でも盛んに行われているサツマイモ栽培について、また、出荷する際の苦労についてお話を伺いました。

サツマイモは連作体系に組み入れることも可能な作物で、近年の温暖化により北海道で盛んに栽培されているようです。

苗作りについては課題が残るものの栽培方法は着実に進化しているようです。また、製品化する際の傷についても修復技術が確立されつつあります。

今後、様々な活用が期待され、地域の活性化材料としても一役を担うものとして、栽培者が増えることも予想されます。

（植西（うえにし） 浩一（こういち） 議員）

【7月2日開催】

北海道町村議会議員研修会



はじめに関東学院大学法学部地域創生学科教授の牧瀬（まきせ） 稔（みのる） 氏から「地方議員への12の政策アイディアから人口維持を目指す実践事例」と題して講演がありました。人口減少は避けられないが、問題は「減ることではなく選ばれなくなること」である。限られた財源の中で政策の優先順位が必要と述べられました。

次にジャーナリストの須田（すだ） 慎一郎（しんいちろう） 氏から「どうなる政治・経済」と題して講演があり、失われた30年と言われる日本経済のなか、責任ある積極財政でどのように予算編成をするか期待されると述べられました。

（谷口（たにぐち） 雅浩（まさひろ） 議員）

【8月19日開催】

和寒町議会視察



本町議会の広聴・広報事業の向上を目的に、和寒町議会へ視察に伺いました。

各種団体との丁寧な懇談を重ねながら、そこで得られた意見を単なる要望で終わらせず、実際の政策実現へと結びつける熱意と姿勢に深く感銘を受けました。また、議会だよりでは、一般質問の掲載を見直すなど、文字数を大胆に絞り込んで町民の関心を惹きつける魅力的かつ分かりやすい紙面作りの工夫も大変参考になりました。

対話を続け、町民との協働で確かな成果を生み出す工夫は、今後の大きな学びとなりました。

（大熊（おおくま） 勝幸（かつゆき） 議員）

【8月18日開催】

町村議会広報研修会



議会広報紙における「町民の無関心」という問題は、情報の発信者と受け手の間にある深い温度差を象徴していると感じました。読みにくさの本質はデザインではなく、「その決定が町民の暮らしにどう影響するのか」という視点の欠如にあると感じています。無関心を打破するには、身近なテーマに飛び込み、町民の声が政策に反映された「手応え」を可視化して信頼関係を築くことが鍵となります。一方的な「報告」から双方向の「対話」へ転換し、地域の課題解決につなげる大切な視点を学んだ研修会でした。

（佐藤（さとう） 良彦（よしひこ） 議員）

全員協議会を開催

複合庁舎の優先交渉権者が決まりました

今回の議論のポイント

複合庁舎建設事業について、「公募型プロポーザル方式」により決定した事業者から技術提案書の提出を受け、業務全般、品質・工程・地域貢献など複数の観点から選定委員会で評価が行われました。

今号では、その内容と議員の質疑について一部ご紹介します。



令和８年５月 25 日：事業者公募開始
７月 24 日：公募締切（１社申請）
７月 28 日：選定委員会開催
８月　５日：優先交渉権者決定
８月　７日：仮契約締結

1 評価のポイント

評価項目	評価の視点
事業実施体制	具体的な実施体制及び基本設計説明書についての理解
品質・コスト・工程・リスク管理	具体的な管理体制、発注者の要求品質に対する方策及びコストアップ等に対する協議手法
地域経済への貢献	地域経済や町内事業者への配慮
町民にとって利便性の高い庁舎	基本設計説明書についての理解
機能性と経済性	
防災拠点としての役割	
環境に配慮した庁舎	
施工計画	工期の遵守、仮設計画、施工計画について
施工中の対策	安全対策、騒音対策、利便性の確保など

2 提案価格審査

評価項目	上限提案価格	提案価格見積額
提案価格見積書に記載された金額	3, 980, 780, 000 円	3, 969, 430, 000 円

3 事業者

優先交渉権者名：竹中・荒井共同企業体
代表者：株式会社竹中工務店北海道支店
構成員：荒井建設株式会社

4 履行期間

実施設計　契約締結日～令和９年４月 30 日
工事監理・施工～
　令和９年５月１日～令和 10 年７月 31 日

Q & A

議員の質疑をご紹介します！

Q…議員からの質疑
A…担当からの回答

Q **選定委員として選任されている外部委員２名の専門性は、品質・コスト・機能性・施工計画などの評価項目に合致していますか。**

A 外部委員２名は、それぞれの専門分野において評価項目に合致した適切な人選であり、専門的な審査体制を構築しています。

Q **地域貢献に関して、現時点でどの程度具体的な地域貢献策が期待できますか。また、実際に地元企業がその業務を担っていけるのか不安がありますが、どのようにお考えですか。**

A 提案事業者からは、予算との合致状況を精査した上で提示するとの回答があり、実際の事業化にあたっては、参画する地元企業の業務対応能力を調査した上でパートナーとして選定していく方針が示されました。

Q **工期短縮による費用の縮小も大切ですが、地域貢献を優先すべきではないでしょうか。**

A 評価の配点では、地域経済への貢献が最も高く、同様に工程・品質も最高得点で配点しているため、両方を重視しています。

Q **地元企業への技術継承は実際に叶うのでしょうか。**

A 建物完成後の各設備メンテナンスについて、長期間にわたり地元の企業に担っていただきたいと考えています。提案事業者からは、地元の企業を活用し、将来にわたってメンテナンスを行えるよう着実に技術継承を進めていきたいとの回答がありました。

Q **建設事業の進捗状況について、段階ごとに議会に報告するなど、チェック体制をどのように考えていますか。**

A 定期的に広報紙を通じて情報発信を行うとともに、必要に応じて全員協議会等を開催し、実施設計完了後から工事へ移行する判断の際にも、ご意見を伺う機会を設けたいと思います。

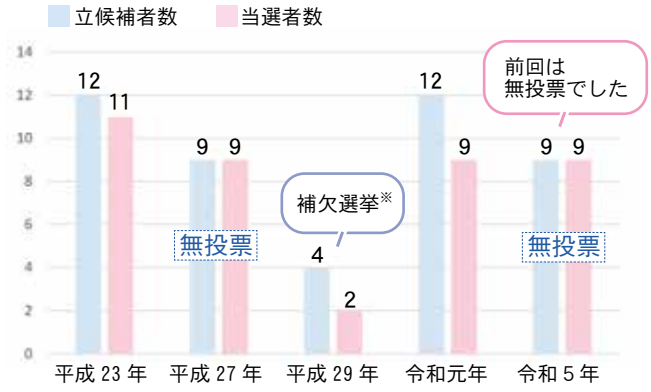


議会のシゴト

議員のなり手不足について考える。

地方議会議員のなり手不足が全国的に深刻な問題となっています。
今号では「議員のなり手不足」をテーマに本町議会の現状をお知らせします。

選挙結果の推移（直近５回）



※補欠選挙は、議員の欠員を補充するための選挙です。

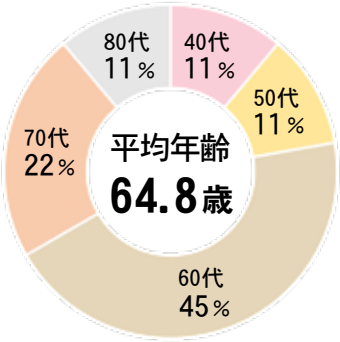
議員定数の推移

平成 13 年　13人 → 平成 18 年　11人 → 平成 26 年　9人

１３年間で４人減少

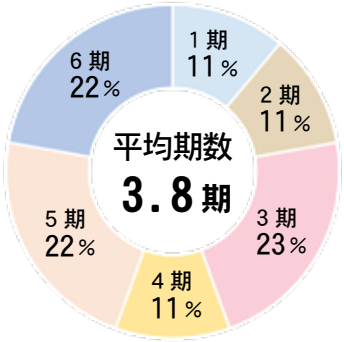


年齢構成（令和８年５月現在）



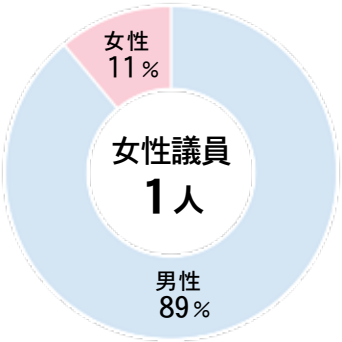
60 代以上が
全体の約８割を占めています。

期数別構成（令和８年５月現在）



ベテラン議員が多く
若手議員が少ない状況です。

女性議員の割合



女性議員が少なく
多様な視点が必要です。

なり手不足がもたらす影響

無投票当選のリスクが高まる



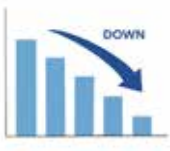
住民が投票を通じて政策や人物を選ぶ機会が失われます。

多様な意見が反映されにくい



同じような考え方に偏ることで多様な視点が失われ、住民の意見が行政に届きにくくなります。

チェック機能の低下



行政に対する議会の監視・抑制機能が十分に働かなくなる恐れがあります。

皆さまのギモンにお答えします！

Q&A 特集

Q1 議員は毎日役場にいるの？

A 議員は毎日役場にいるわけではありません。議会や委員会への出席のほか、地域活動や住民との意見交換、課題の調査などを行っています。



Q2 誰でも議員になれるの？

A 選挙で町民の皆様の支持を得て当選することで、議員になることができます。２５歳以上で町内に住んでいる方が立候補できます。



Q3 仕事をしながら議員はできる？

A 実際に仕事をしながら活動している議員もいます。議会や委員会への出席など、時間の調整が必要になる場面はありますが、それぞれ工夫しながら議員としての役割を果たしています。



Q4 どのような人材や視点が必要？

A さまざまな年代、多様な経験を持つ方たちが議員として活動することで、多様な声を町政に届けることにつながります。だからこそ、多くの方に議会へ関心を持っていただきたいです。



Q5 議員に相談したい時は？

A 議員は地域での活動や各種団体の集まりなどで町民の皆様の声を聞いています。直接お声がけいただくか、議会事務局へご連絡ください。



Q6 議員報酬だけで生活しているの？

A 議員報酬はありますが、それだけで生活している人ばかりではありません。他に仕事をしながら、町のために活動をしています。



議員へインタビューをしてみました！



Q 議員活動で印象に残っていることは？

（澁谷興二 議員）

これまで多くの経験を積ませていただきました。町の課題と向き合うことで町政に関わる重みとやりがいを実感しています。



Q 議員活動で大変なことは？

（今井明信 議員）

町民の皆様のお話を伺うたびに、地域の課題に懸命に向き合う皆様のご苦労とご負担の大きさを痛感させられます。



Q 議員になったきっかけは？

（植西浩一 議員）

高校の同級生が他町の議員になっていました。
私も挑戦したくなり、教育改革を胸に議員を志しました。

日常の“一コマ”をお届け!!

議員リレートーク

議員がリレー形式で、それぞれの思いや日常の様子をお伝えします。普段の議員活動とは少し違った一面も、ぜひご覧ください！



遠藤（えんどう） ハル子（はるこ） 議員

「自然と共に生きる」



中町に越してから隣地の「ホウズキ」が我が家に根を伸ばし、綺麗に咲き赤みを帯びてきました。刈り取るのも「もったいない」と思いドライフラワーにすると、あれもこれもドライに出来ると気持ちが大きくなり「いい趣味ですね」「段々よくなる法華（ほっけ）の太鼓（たいこ）」とまで言われ、自分でも大好きになりました。

この作品は７月のバラが咲き始めた時に新聞の上で撮影しましたが、バラに潜んでいた虫に食べられ今は幻となりました。



谷口（たにぐち） 雅浩（まさひろ） 議員

「やっぱり世界一！！」



「世界一大雪山がきれいに見えるまち」を宣言した比布町。大雪山連邦のほぼド正面に位置し、高い建物がほとんどないため、町内の多くの場所から旭岳を含む連峰の全容を端から端まで一望できますね。季節ごとに表情が代わり、朝夕の紅葉雪化粧、残雪と新緑のコントラストが美しい。比布大雪パーキングエリア交流展望広場は、代表的な絶景スポットでピクニックにも向いています。

また、ぴっぷスキー場も夏には車で上がれ、冬には大雪山を眺めながら滑れます。やっぱり世界一。

編集後記

このたび、比布町に拠点を設けている企業様から企業版ふるさと納税としてご寄付をいただき、スタインウェイ社製のグランドピアノを購入させていただきます。「君の夢プロジェクト推進事業」に感銘を受け、子どもたちに本物の音色にふれてほしいという温かな想いが込められたご厚意に、心より感謝申し上げます。

この贈り物が、子どもたちの夢や感性を育むとともに、比布町の新たな魅力として多くの皆様に親しまれ、未来へつながる大切な宝となることを願っています。

（大熊（おおくま） 勝幸（かつゆき））

＊議会広報特別委員会＊

委員長　植西　浩一
副委員長　佐藤　良彦
委員　遠藤ハル子
大熊　勝幸
谷口　雅浩

発行　北海道比布町議会　　編集　議会広報特別委員会